

## 概要

当クリニックは、物忘れや理解力の低下など認知症の症状のある患者さんを専門的に診療する外来です。認知症を専門とする精神・神経科医6名、神経内科医3名、言語聴覚師1名により構成され、科を超えた診療体制をとっています。認知症患者さんの症状に応じて、神経内科医もしくは精神・神経科医が外来診療を担当します。

## 対象疾患

●アルツハイマー病 ●脳血管性認知症 ●レビー小体型認知症 ●前頭側頭葉変性症 ●正常圧水頭症 ●軽度認知障害

## 検査

●頭部MRI検査 ●脳血流シンチ検査 ●DaTスキャン検査 ●脳波検査 ●神経心理学的検査(認知機能検査)

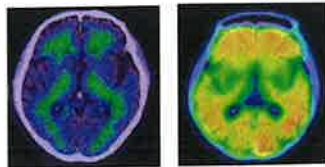
## 専門外来

当クリニックは、物忘れなど認知症の中核症状を主訴とする患者さんを対象に、専門的な評価、診断を行い、その後の治療や生活指導を行っています。主に、早期の認知症や、その前駆状態が含まれる軽度認知障害に質の高い診療を提供することを主眼としていますが、中等度以上の認知症の診療も対象としています。図2にありますように、当クリニックの初診患者さんはアルツハイマー病の方が最も多いですが、10%以上で正常もしくは認知症以外(うつ病など)の診断の方もおられます。



## 得意分野

担当医師は、認知症を専門とする神経内科医3名、精神・神経科医6名、言語聴覚師1名により構成され、科を超えた診療体制をとっているところが大きな特徴です。これまでの認知症診療においては、神経内科医のみでは、うつ病と認知症の鑑別や周辺症状の薬物療法に苦慮することがありました。また、精神・神経科医では、脳血管性認知症の内科的治療が困難な場合が多々あります。当クリニックでは、神経内科医および精神・神経科医という専門の異なる医師2名により総合的に診療することも可能です。個々の患者さんの症状に応じて神経内科医もしくは精神・神経科医が後の外来診療を担当することにより、診療科の枠組みを超えた連携による診療体制を試みております。また、種々の高次脳機能の検査を用いて、客観的な認知機能評価を重視した診療を確立しております。さらに、2診療科合同で、定期的にカンファレンスを開催し、綿密な症例検討と診療レベルの向上に取り組んでおります。また、当クリニックでは、認知症の根本治療薬に対する臨床治療研究を積極的に行い、新しい治療法の開発にも取り組んでおります。さらに、認知症の原因である異常蛋白の蓄積を画像化する検査法(アミロイドイメージング、タウイメージング)の確立にも力を入れております(図1)。いずれも研究段階ではありますが、適応のある患者さんには、研究への参加をお願いしております。



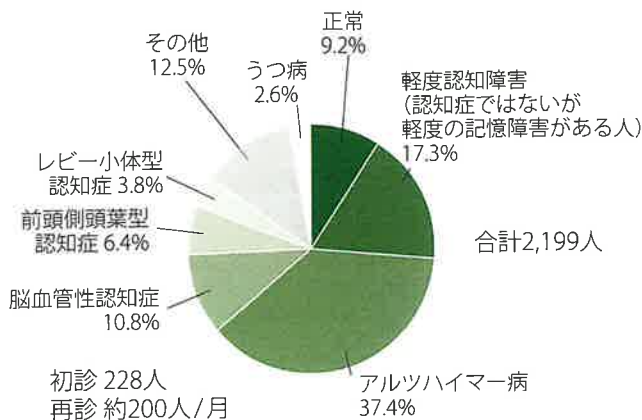
正常 アルツハイマー病  
アルツハイマー病で黄から赤色の部分はアミロイドの蓄積を表している

図1. 新しい検査法アミロイドイメージング

センター長  
伊東 大介

## 実績

図2. 当院メモリークリニックの疾患分布、頻度 (2021年)



## 医師専門分野一覧

医師名	職位	専門領域	外来診療日	
			初診	再診
伊東 大介	特任教授	神経内科・認知症	火 PM 金 AM 土 PM	
北尾 淑恵	非常勤医師	精神神経科・認知症		月 PM
船木 桂	特任助教(非常勤)	精神神経科・認知症	火 AM	
文 鐘玉	特任准教授	精神神経科・認知症		水 PM
窪田 真人	助教	神経内科・認知症	水 AM	
田淵 肇	特任准教授(非常勤)	精神神経科・認知症	木 AM	
色本 涼	専任講師	精神神経科・認知症		木 PM
三村 悠	助教	精神神経科・認知症	月 AM 金 PM	
西本 祥仁	専任講師	神経内科・認知症		土 AM

※初診時は、初診担当医のご予約をお取りください。

※2023年7月時点の情報を掲載しておりますが、担当医が変更になる場合があります。

外来予約窓口 TEL03-3353-1257

【受付時間:月~金 8:30~19:00】  
※土曜日は17:00までの受付となります。

休診日:日曜日/第1・3土曜日/国民の祝日・休日/年末年始(12月30日~1月4日)